

100億宣言

株式会社ウタシカン（飲食業）



FC加盟ブランド

- 本社所在地：京都府京都市
- 事業概要：フランチャイズビジネス
KFC・ピザハット
焼肉牛角・温野菜
とんかつさくら
- 常時使用する従業員数
：社員数130名（2025年5月期）
アルバイト数約1,800名
- 現在の売上高：69億円（2024年5月期）
- 法人番号：5130001025499
- Web：http://www.utashikan.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
西尾 明

「ひと」第一主義

株式会社ウタシカンは、食を通じて日本中の人々の幸福を創造することをミッションとしております。働く仲間も「ひと」お客様も「ひと」、関わって頂いている全ての「ひと」の幸福を創造して参ります。「社員やその家族が物心両面で豊かになること」そして「永続的に会社が続くこと」、そのためには、会社は進化発展しなければなりません。たくさんのお客様の笑顔と従業員の雇用を創出し、「ひと」を支え「ひと」に支えられる会社を目指します。社会に貢献して参りたいと存じます。

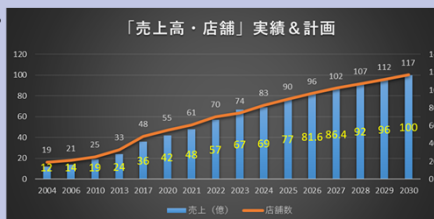
理念標語

お客様の笑顔が「うれしい」、だから働くことが「たのしい」
美味しかった・ごちそうさまのひとことが「しあわせ」
この気持ちをみんなで共有する「かんどう」が大切！

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2030年には100億円を達成させる。主力事業であるKFCの出店を軸に、現在好調な牛角焼肉食堂・とんかつ神楽坂さくらの出店も加速させる。



課題

- ・各本部と連携し出店。
- ・イオンモールなどのディベロッパーと協力し出店
- ・各本部、不動産会社と連携し物件の獲得。
- ・メガフランチャイジーとしての地位確立。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・KFC、牛角焼肉食堂、とんかつ神楽坂さくらの計画的出店。
- ・既存店売上の成長。
- ・不振店舗のリロケートの実施。
- ・人材採用、人材育成の実施

実施体制

- ・各FC本部との連携と支援。現在もご支援を頂いています。
- ・2028年にはHRD部門の創設。人材採用、人材育成に取り組む。
- ・自走する組織をつくり成長を加速させる。組織体制づくり。

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

「経営ビジョンと目的・目標」「成長実績と100億への道」

■社員やその家族が物心両面で豊かになること

- ・経済的な安定や豊かさ
- ・仕事に対する誇りや働きがい、生きがい
- ・賃金や福利厚生などの経済的な豊かさ
- ・ご自身や家族の人生における満足

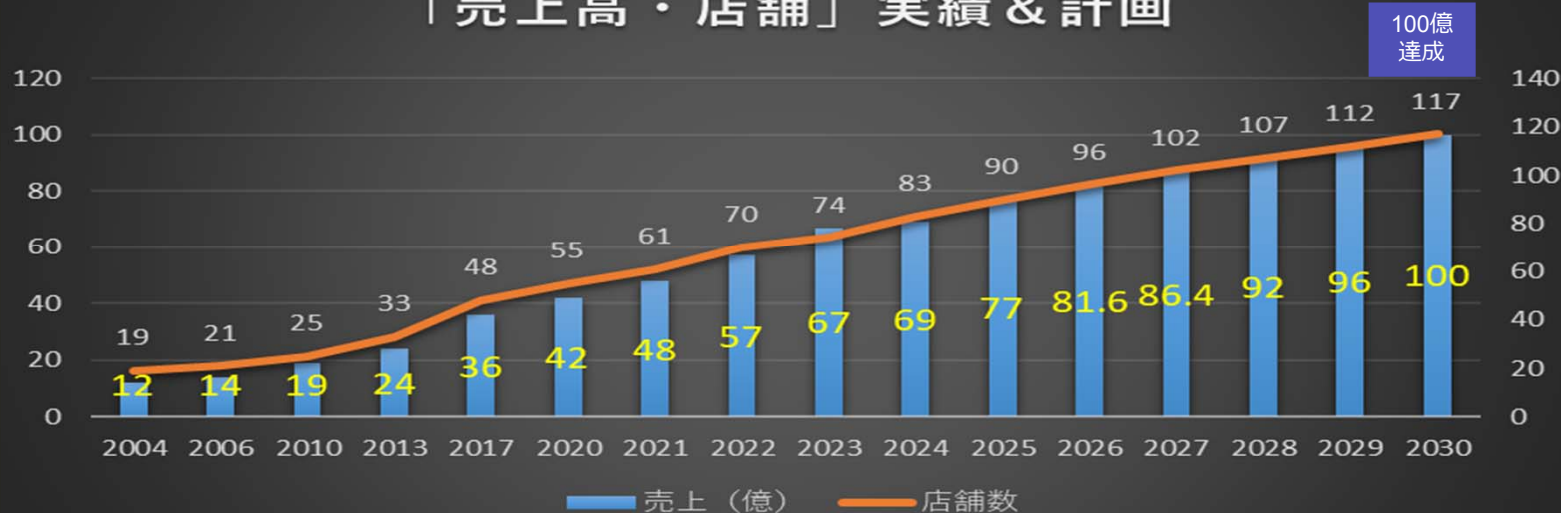
■永続的に会社が続くこと

- ・会社は倒産していけない
- ・会社を成長させて利益体質を作らなければならない。不測の事態にも対応できる余裕と準備をしておかなければならない
- ・利益を出して分配しないといけない
- ・次世代を担う経営者の育成

■掘り下げ：具体的に（行動指針も含め列記）

- ・自走する組織の構築
- ・経営理念の浸透
- ・永続的に利益を出すための事業拡大
- ・新規事業探索
- ・計画的な出店閉店
- ・銀行交渉
- ・HRD部門の設立
- ・毎年年間30人の採用
- ・離職率の低減
- ・継続的なベースアップの実施
- ・賞賛制度の確立
- ・福利厚生の拡充
- ・次期経営者の人財育成
- ・研修制度の拡充
- ・管理職メンバーとの個人面談
- ・経営数値の開示
- ・健康診断項目の見直し
- ・イベントの企画
- ・常に笑顔で元氣よくいること
- ・常に自分から挨拶すること
- ・常に理念や行動指針を体現できるよう心掛けること

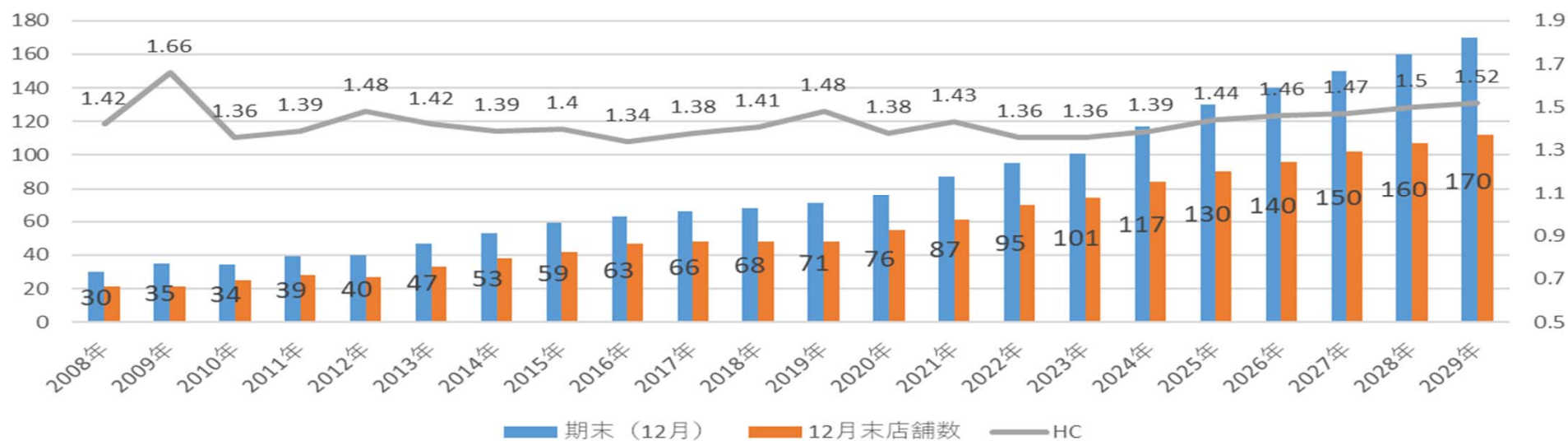
「売上高・店舗」実績 & 計画



成長のキーとなる人材採用と育成。実績と計画。

- ・当社が運営するブランドは、1店舗に社員が1名か2名が配置され、そこにアルバイトさんが20名～30名で運営するスタイル。
- ・1店舗当たりの社員数をヘッドカウント（以下HC）と表記する。
- ・HCが1.4～1.5が適正といえる状態。
- ・HCが2.0あると、社員数が充足しているように見えるが、人件費過多で利益が出なくなる。
- ・HCが1.2を切ると顕著な人手不足という状態になる。
- ・現状1.4前後で推移。採用育成を継続し、出店しながらも2029年にはHC1.5にもっていく。
- ・社員数は170名となり相当な雇用を創出することができる。

人員数・ヘッドカウント（1店舗当の社員数）



株式会社ウタシカン（飲食業）

自由記載（例：売上高100億円実現に向けた具体的措置）

- ・全83店舗が「チャレンジ100」という標語と「経営理念」を店舗の事務所に掲出している
左から2025年の「チャレンジ100」POP。右は実際の店舗での掲出例。
- ・また補助金制度があって初めて100億企業を目指そうとなったわけではなく、下段のように2021年には活動をスタートさせており着実に成長してきております。



自由記載（例：売上高100億円実現に向けた具体的措置）

- ・本社会議室には、各担当長が、企業成長に向けて「どうありたいか」「どのような組織にしたいか」「未来はどうなっていたいか」「ビジョンはもっているか」を自ら深く考え、宣言を実施しており、それを掲出してあります。これを全社員が見て会社一丸となって取り組んでいるんだという意識を醸成させてあります。
- ・会社が何を考えいるのかを明確に全従業員に周知させることが一番大事と思ってあります。全てを自分事として捉え行動できるようになることが目標です。
- ・また「なんのために」働いているのか、なんのためにチャレンジ100なのか、それは自分たちの幸せの創造のため、そしてそれが自身のご家族、またお客様の幸せの創造につながるんだということをお伝えし、理解していただくことに取り組んであります。まだまだですが、徐々に浸透していると感じます。理念や社訓の浸透こそが、会社を強くすると信じて取り組んで参ります。

